

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 6 卷第 26 号

第 26 週 (6 月 26 日 ~ 7 月 2 日)

発行年月日:平成18年(2006年) 7 月 7 日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

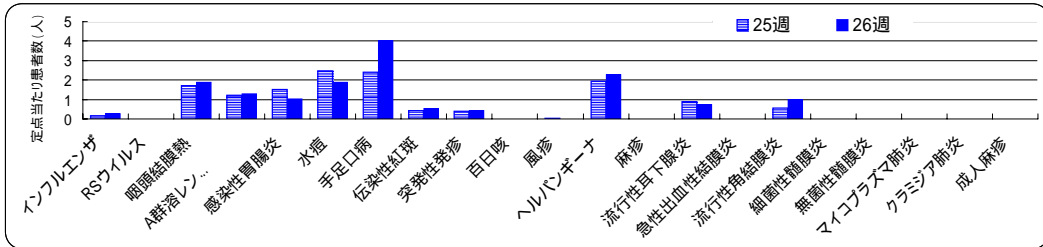
電話 077-537-3050 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

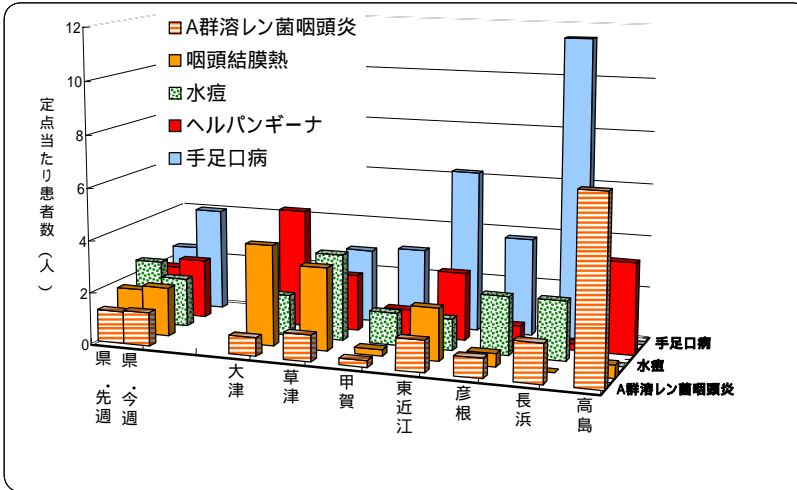
手足口病の発生は先週に引き続き急増

定点把握の対象となる五類感染症の発生状況は、先週(6月19日~6月25日)の報告数より多くなっており、増加した疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ等です。特に、手足口病については増加傾向を示す保健所管内が増えています。また、減少した疾患は感染性胃腸炎、水痘等です(詳細については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。全数把握対象疾患では、五類感染症のアメーバ赤痢1名の届出がありました。

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(前週との比較、定点当たり患者数)

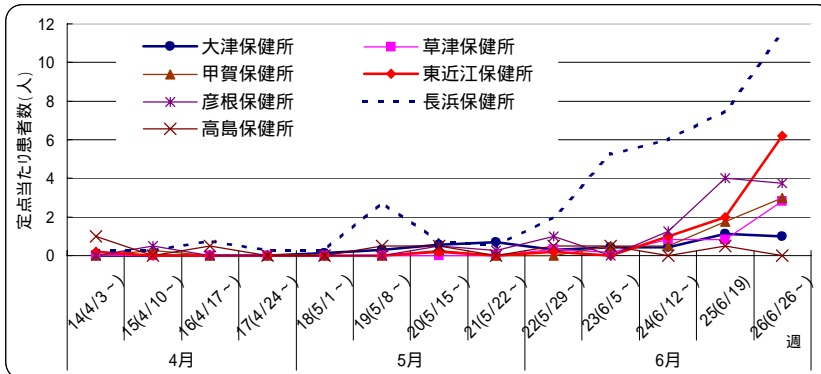


上位5疾患の保健所管内別発生状況(定点把握対象五類感染症、第26週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおりで、手足口病、ヘルパンギーナ、水痘、咽頭結膜熱、A群溶レン菌咽頭炎の順に多くなっています。手足口病は長浜で、A群溶レン菌咽頭炎は高島で非常に多くなっています。

手足口病の週別・保健所管内別発生状況(平成18年第14~26週、4/3~7/2)



平成18年第14~26週における保健所管内別の発生状況はグラフのとおりです。第22週以降長浜保健所管内では増加傾向となり、第26週の定点当たり患者数は11.50と非常に多くなっています。第24週以降は東近江および彦根保健所管内においても急増しています。また、第26週における都道府県別の発生状況は福井県、岐阜県、徳島県、静岡県、愛知県に多くなっています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (26週)	累積報告数		平成17年報告数	
			滋賀 (26週)	全国 (26週)	滋賀	全国 ^{(*)1}
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	細菌性赤痢	0	^{(*)2} 2	208	^{(*)3} 7	556
	腸チフス	0	0	43	0	50
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	13	864	12	3,567
四類感染症	E型肝炎	0	0	35	0	40
	A型肝炎	0	1	213	1	168
	オウム病	0	0	15	1	34
	デング熱	0	0	20	1	73
	マラリア	0	0	26	0	66
	レジオネラ症	0	5	193	3	276
五類感染症	アメーバ赤痢	1	5	335	5	680
	ウイルス性肝炎	0	0	120	2	277
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	80	2	147
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	4	68	0	60
	後天性免疫不全症候群	0	7	604	7	1,161
	ジアルジア症	0	1	43	0	81
	梅毒	0	3	302	0	555
	破傷風	0	0	41	0	114
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	38	2	65
	急性脳炎	0	1	91	2	180

- *1:平成17年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
 *2:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分1件を含みます。
 *3:検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知分3件を含みます。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第26週(6/26～7/2) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: デング熱 1例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群 16例
二類感染症: 細菌性赤痢 4例	マラリア 2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1例
コレラ 2例	レジオネラ症 13例	ウイルス性肝炎 5例
腸チフス 1例	つつが虫病 6例	アメーバ赤痢 12例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 111例	E型肝炎 1例	ジアルジア症 2例
	A型肝炎 1例	梅毒 12例
	五類感染症: 破傷風 3例	

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点*から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。*疾患により定点数は異なります。

(1) 疾病別・週別発生状況(第21週～26週、5/22～7/2)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						
	21週	22週	23週	24週	25週	26週	
	(5/22～)	(5/29～)	(6/5～)	(6/12～)	(6/19～)	(6/26～)	22 23 24 25 26
インフルエンザ	0.94	1.21	0.71	0.80	0.16	0.26	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.84	1.44	1.91	1.88	1.72	1.88	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.44	1.97	1.72	1.69	1.22	1.28	
感染性胃腸炎	4.03	3.63	2.66	2.31	1.50	1.03	
水痘	1.81	3.09	2.84	2.47	2.47	1.88	
手足口病	0.25	0.56	0.88	1.38	2.41	4.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.38	0.78	0.53	0.66	0.44	0.53	
突発性発疹	0.31	0.31	0.59	0.41	0.38	0.44	
百日咳	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0.03	0.03	0.03	0	
ヘルパンギーナ	0.53	0.53	0.97	1.13	1.94	2.28	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0.03	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.53	0.84	0.66	0.53	0.88	0.72	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.86	0.57	0.14	0.29	0.57	1.00	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	

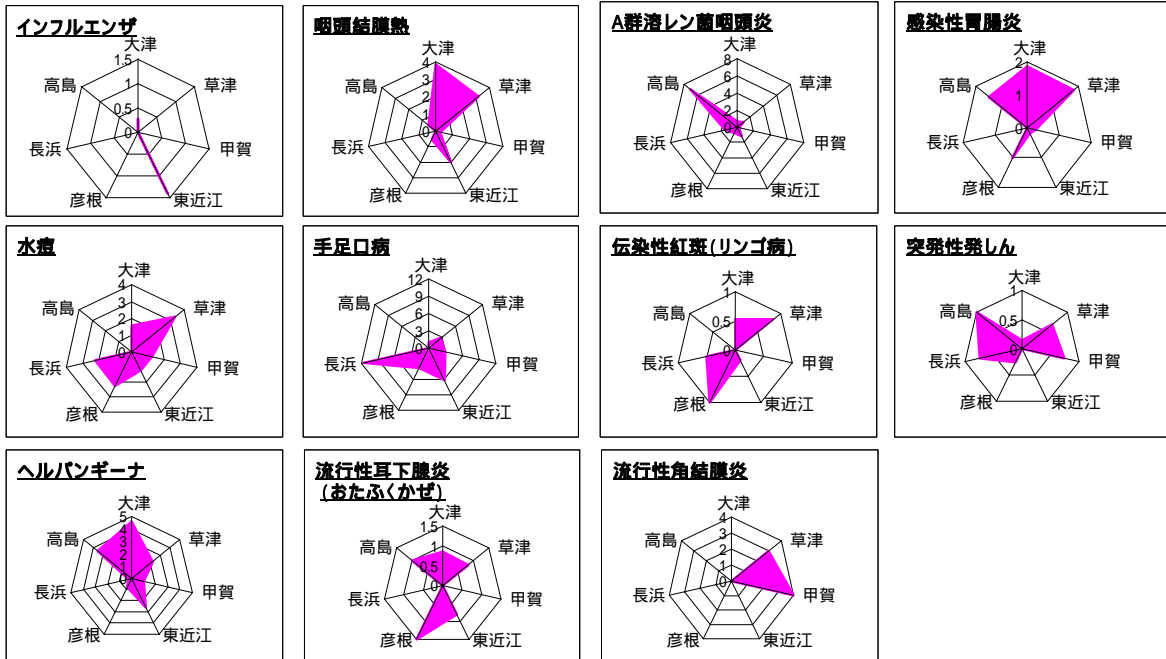
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第26週、6/26～7/2)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.26	0.27	0	0	1.38	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.88	3.86	3.17	0.25	2.00	0.50	0	0.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.28	0.71	1.00	0.25	1.20	0.75	1.50	7.00	
感染性胃腸炎	1.03	1.86	1.83	0.25	0.20	1.00	0	1.50	
水痘	1.88	1.57	3.33	1.25	1.20	2.25	2.25	0	
手足口病	4.00	1.00	2.83	3.00	6.20	3.75	11.50	0	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.53	0.53	0.83	0	0.20	1.00	0.50	0	
突発性発しん	0.44	0.14	0.67	0.75	0	0.25	0.75	1.00	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん(三日はしか)	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	2.28	4.57	2.17	1.00	2.60	0.75	0.25	3.50	
麻しん(成人麻しんを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.72	0.86	0.83	0	0.80	1.50	0	1.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	1.00	0	3.00	4.00	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

緑色は定点当たり患者数が先週より増加、赤色は定点当たり患者数が非常に多い状態

0 1 2 3 4
定点当たり患者数(人)

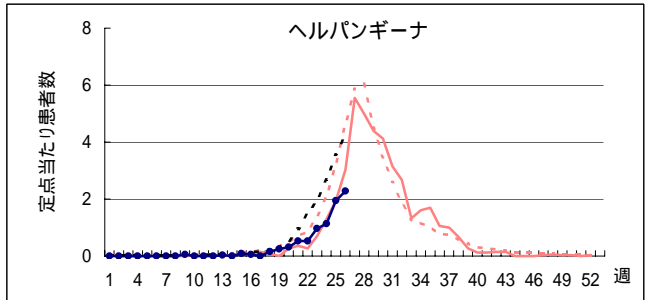
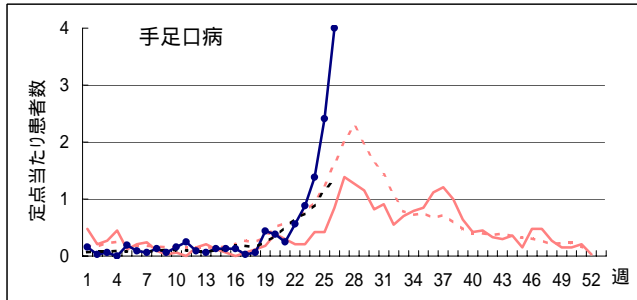
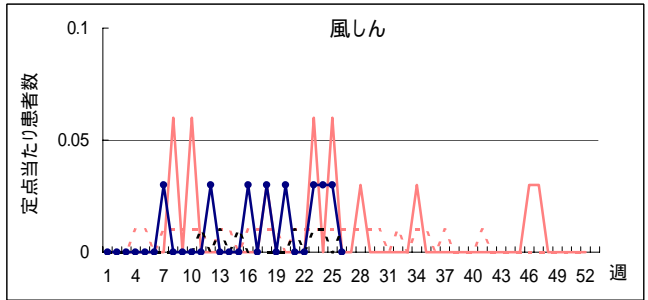
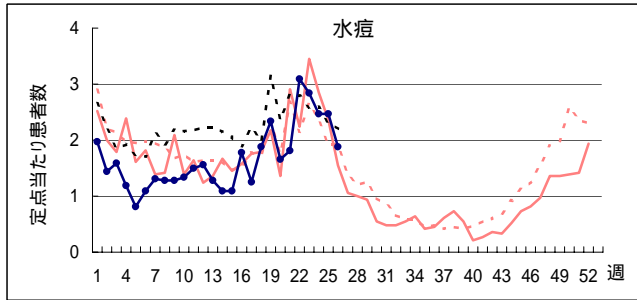
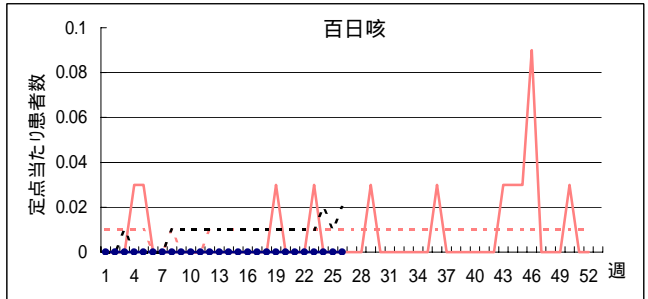
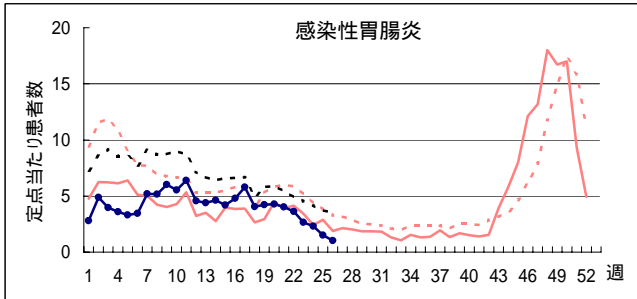
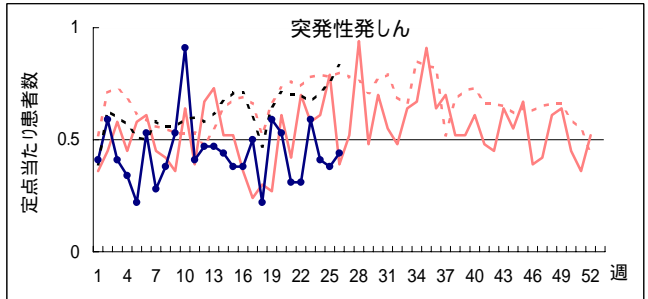
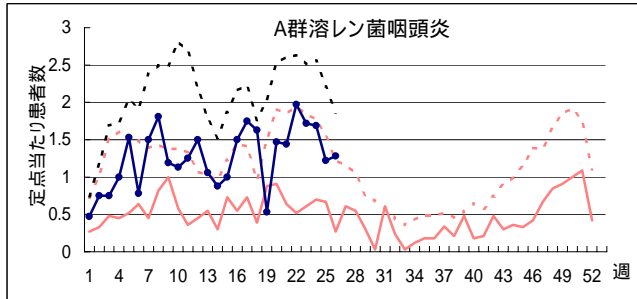
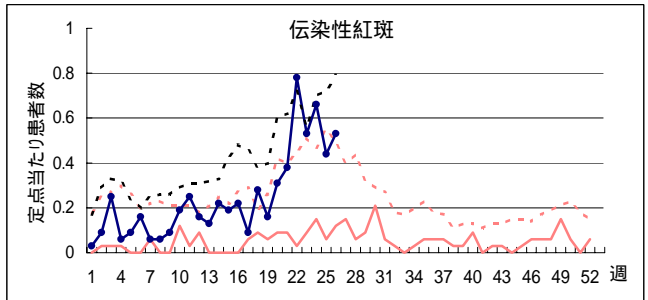
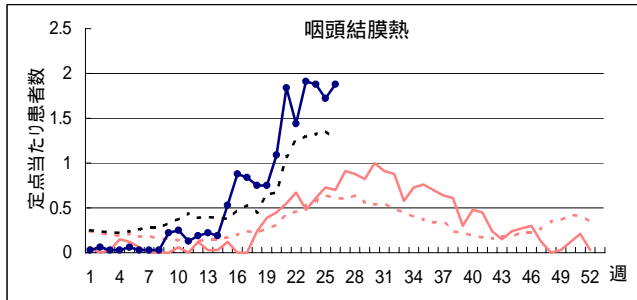
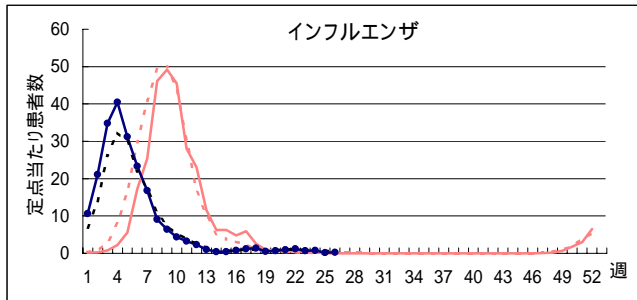
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



今週の発生状況：保健所管内別定点当たり患者数

- インフルエンザ-----ほとんどの保健所管内で先週より減少または変化なしとなっていますが、東近江では増加し定点当たり患者数は1.38となっています。
- 咽頭結膜熱-----4保健所管内で先週より増加しており、特に大津、草津および東近江で多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎---- 高島では先週よりやや減少したものの、今週は再び増加し定点当たり患者数は7.00と非常に多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----先週と同様、大部分の保健所管内で減少または変化なしとなっています。
- 水痘-----高島で先週よりかなり減少していますが、草津、彦根および長浜ではやや多い状態となっています。
- 手足口病-----大津、彦根および高島では先週よりやや減少していますが、その他の保健所管内では先週より急増しています。特に長浜では第22週以降連続して増加しています。
- 伝染性紅斑-----大津、草津および彦根でやや多くなっていますが、先週とほぼ同様の発生状況です。
- 突発性発しん-----先週とほぼ同様の発生状況ですが、甲賀および長浜においてもやや多くなっています。
- ヘルパンギーナ-----大部分の保健所管内で増加し、特に大津および高島で多くなっています。
- 流行性耳下腺炎-----県全体としては先週より減少していますが、彦根でやや多くなっています。
- 流行性角結膜炎-----草津および甲賀から報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第26週、H18.1.2～H18.7.2)



疾病別定点当たり患者数(平成18年第1週～第26週、H18.1.2～H18.7.2)

H17 { 滋賀 ————
全国 - - - - -

H18 { 滋賀 ●——●
全国 - - - - -

